

# 松実だから変わった 【高等部卒業文集より】

## 「心」を教えてくれた場所

入学した頃の私はまだ自分の心の制御が出来なかったのです。自分の思いが上手く表現できずに、色々な人を傷つけてしまっていました。けれど、こんなどうしようもない私を先生や友達はずっと支えてくれたのです。その時、私は気づきました。もっと人を頼っていいんだと。友達は私に誰かの為に頑張る力、自分の弱さに気づく強さを教えてくれました。先生は私に自分の心と向き合い苦しみながらも変わる大切さを、そして一緒に苦しみと向き合い私の為に厳しくも優しい言葉をかけてくれました。両親は陰ながらも側に居てずっと支えてくれていました。

私はここで出会うことの出来た全ての人に言葉に出来ないくらい感謝をしています。本当にありがとうございました。この場所で過ごした大切な時間をこの先も大切にしていきたいです。

## 松実での高校生活

この3年間、いつも変化と成長の連続でした。布団の中で生きていた私が、沢山のものを貰いました。色々なことが出来るようになりました。価値観も生き方も自分に対する考え方も変わりました。

自分の身体が思い通りにいかなくて辛くても学校という居場所があったから頑張れました。どんな時に来てもおはようと言ってくれた友達も、よく来たねと言ってくれる先生も、帰ってきたらお帰りと言ってくれる家族も、私にとってはとってはとっても特別で、新鮮で、大切に、嬉しかったのです。

3年前の私にありがとうと言いたいです。ただ普通の日を何よりも夢見ていた私に、ありがとうと言いたい。そして、できたよ。と言ってあげたいです。

これから何があるか分からないけど、この松実で貰ったものは一生の宝です。3年前には考えられないくらいとても幸せな高校生活を送ることができました。わたしをずっと支えてくれた友達、先生に心から感謝します。みんな大好きです。ありがとうございました。

## 高校の友達

2018年の4月、期待と不安を胸に抱きながらここ松実高等学園に入学した。人間関係で失敗の連続だった私は、今度こそ人前で上手く振る舞おうと必死だった。

探り探りではあるものの段々と高校生活に慣れ始めた頃、心から共に大笑いできる友人と出会った。友人は一人、また一人と増えいつしか皆親友になっていた。入学した当初はこんなにも仲の良い友人が来るなど考えていなかったのも、本当に嬉しい気持ちで一杯だった。たくさん笑い、泣き、様々なことを共有し乗り越え、互いに成長してきた。勿論、多くの人に支えられて過ごした三年間なのは間違い無いが、今日まで楽しい高校生活を送る事が出来たのはあの子たちの存在が大きいだろう。本当に本当に感謝しても足りないくらいだ。

彼女たちと共に歩んだ、恐らくキラキラと輝いていたであろう高校生活を、私は決して忘れない。これからもよろしくね。

## 松実に来て本当に良かった・・・

松実で過ごした高校の三年間は、幸運にも様々な出会いやチャンスに巡り会うことができました。入学当初こそは学校へ行くこと自体に抵抗感がありましたが、同級生達の協力で自分が通いやすい環境を整えてくれたおかげで自分は松実へ通うことができました。松実で過ごした日々の中で感じてきたことは、人との繋がり大切さと、自分と波長の合う存在が居ることの有り難さです。特にいつも相談ののってくれる友人には何度も助けられました。こうした友人と出会えた自分は恵まれたのだなと思っています。自分にとって「松実に通って良かった」と感じさせてくれた先生や友人達と楽しい時間を共に過ごせたことが何よりの幸せであり、一番の宝物です！

自分の学園生活を充実した素晴らしいものにしてくれた全ての方々に感謝したいです。三年間ありがとうございました！

## やりたいように生きる

この文章を読んで入学決めたりする子の為にこの学校に入っていい事を何個か書こうと思います。

1つ目は他の学校とは違い**自由がきく**ことです。僕の場合、**持病などがあり、あまり学校に行っていません**でしたが、無事卒業出来ます。勿論行かなくてもいいやとか面倒くさいから行きたくないとかは駄目だけど、自分がこの先何したいとか病んだりとか悩んだとしても**考える時間はくれる**所です。ゆっくり自分で考えて解決してから行くのも全然大丈夫です。そこが1つ目のいい点です。

2つ目は**勉強面**です。多分この学校にくる人八割は不登校などであまり勉強ができない人が多いと思います。僕も実際そうです。でも午後の授業などで自分の**苦手な教科を克服**したり、逆に**得意な科目を伸ばす**こともできます。僕が思うにこの学校にもし入る!ってなったら自分が**将来やりたいことに必要なことを勉強する**のが1番だと思います!

3つ目の点は**イベント**ですかね。僕はボランティアに何回か参加しました。ボランティアは色んな人と**わったり話したり**できるし、感謝されるので**とても楽しい気持ちいい**のでやって損はないと思います。進学と就職どちらにも力を入れていると思うので、進学したい子も就職したい子どっちでも入って損は無い学校だと思いますよ!

そして最後にこれは文集なので自分の夢について少し書きますね。僕は中1の時**起立性調節障害**になって**不登校**になり約2年間学校に行っていませんでした。高校も実際全然行ってないです。僕はいままで人に迷惑をかけて生きてきたのでこれからは人に感謝される**仕事がしたい**と思いました。そこで**障害を持っている人をサポートする仕事**がしたいなと思いました。この仕事は決して簡単ではないけど障害を持っている人、そしてその人の親に**自信を与えたり笑顔にできればいい**なと思い選びました。しかしこの夢を思いついたのが高3の最後の方なのでこの職業の為の勉強を全くしていないため、これはまずいということで**1.2年勉強してから就職**するという**決断**にしました。専門や大学に行くという**選択**もあったけど僕は学校に行くことが多分無理なので家で**独学で挑む**ことにしました!**これから色々選択する事がみんなにもある**と思うけど、自分の人生だしいつ死ぬか分からないのだから**自分で決めて後悔しないように楽しい人生送ろう**ね。この文をもしこの学校に入学するか迷っている子とか、将来に悩んでいる子が見ているのならこれを心の隅にしまっというて欲しい。

「この先もいろいろあんだらう。それならその度に**頑張ろう**。転げそうになったら**踏ん張ろう**。そうやって俺は強くなろう。なにか残すために**born and grow** 決めたら最後までやりとげよう。泣いても笑っても、人生は1度きり」

## 人間万事塞翁が馬

今年度は特に成長した年になりました 高校3年生では、受験や新しい人とのかかわりの中で**物事の本質を見抜く力を**養いました。高校1年・2年生では、**他者からの評価や嫌われることに怯え**自分が求めるものを蔑ろにしていたのですが、高校3年生で、人にどうみられるかで**選択をとるのではなく、自分が一番求める正直な選択**をすべきだと学びました。

そして、**受験が人生のターニングポイント**になったと感じています。私は2回受験に失敗し、3回目で合格しました。不合格により**人生最低に気が落ちた時期**もありましたが、そうならなければ学ばなかったもの、出会わなかった人がいた上、またそのおかげで**強い精神力と忍耐力**を得たので、結果的に**良い経験**になったと感じています。悪い事もどこかで**良い事に繋がる**、また逆も然りです。未来は予測できません。目の前の失敗や成功に振り回されず、**決めた道を踏み外すことなく進み続ける**ことが大切だと気づきました。この経験から私の座右の銘が「人間万事塞翁が馬」となりました。

私は今まで、家族に他の子よりも多くの心配と迷惑をかけて来たと思います。中学2年生から5年間でここまで成長できたのは**松実の先生と友人、そして家族が私を支え続けてくれたおかげ**であります。本当にありがとうございました。

## リアルの生活が充実している人

私の高校生活は怖いくらい充実していました。登校1日目にして**ご飯に誘ってもらえ**たし、ひたすらうきうきしてたら、思わぬ所で人を傷つけ、傷つけられたり、何しても鬱だと思っていたら、**目標と仕事が見つかって没頭**できたり。これ以外にもたくさん。人生山あり谷ありとはこういう事かと18歳にして痛感しました。それと同時に**充実している**と言えることは**とんでもなく幸せ**だと学びました。私は**嫌なことがあってこそその充実**だと思います。私の尊敬している人は、**辛い体験をちゃんと経験として置きかえているから充実している**のだと思います。だから私もその真似をします。これ以上の**スーパーポジティブ精神**ないです。

だんだん何を言っているのか分からなくなってきました。いま夜中の1時37分なのでかなりの深夜テンションで書いています。こんな時間に起きている分の電気代払ってくれている親に感謝です。**松実の広告を見つけた時**とおいてくれたお母さん。春日部にも通信制の学校あるよと一言くれた学校の先生。学校に行かず**学費の無駄遣い**ばかりしている私をただコンビニやスーパーに連れ出していつも**アイス**買ってくれたお父さん。この3つのことがそろっていなければ**松実**に来ていなかったと思います。ありがとうございます。何気なく呼んでくれたり、似顔絵を書いてくれたり、ボケをボケで返したり、寒い中**アイス**食べたり。後にも先にもこんなに**濃い3年間**は絶対ありません。思い出に浸りながらこんなことを書いている私は**本当のリア充**です。